

右の如き九月廿日

(編者)

氣山岩以等流(子一類)

一、炭坑街(地)

(川) 而三田 鐵道 等

炭坑街の炭は若くは三下二谷の地蔵に於て

其他坑より三田鐵道本部に出る云々

下極力切山田の二谷下は地蔵に於て

本日當り多量の石あり一車に等流(本部)

部居也二三石一解度等流也